

## 令和6年度わくわく事業補助金交付決定状況について

	団体名	補助申請事業名	交付決定額 (円)	新規	テーマ 設定型※
1	阿蔵組	須賀神社所蔵 農村舞台襖絵修理及び欠失面の復元画作成	466,000		
2	大沼支障木整備部会	大沼町地内の支障木整備	127,000		
3	大沼まちづくり部（塚本・鳥屋地区）	ロウバイ花木で大沼の四季を彩る景観づくり	104,000		
4	想家PROJECT	地域活性のために空き家再生事業で関係人口を増やそう！	906,000		テーマ①
5	下山スポーツフェスタ実行委員会	下山スポーツフェスタ	361,000		
6	しもやまみんなの学び舎*たんぽぽ	みんなでつくる地域と学校	684,000		
7	NPO法人下山わくわくファーム	下山を好きになってもらう下山体験教室の開催	612,000		テーマ①
8	花山自治区振興部健康促進隊	第2回花山「あせび」てくてくウォーキング	297,000	○	テーマ②
9	羽布林道整備隊	林道障害木伐採、草刈り、路面、側溝管理	219,000		
10	三河湖の自然と環境を考える会	三河湖の自然を理解して楽しむ事業	891,000		
11	八沢の丘公園整備委員会	旧大沼小学校跡地の公園化整備	993,000		
			5,660,000		

※「テーマ設定型」わくわく事業とは？（令和6年度募集「テーマ」については次ページに記載。）

「テーマ設定型」わくわく事業は、下山地域会議が検討・提言した地域課題解決策の中から、「事業テーマ」を設定し、わくわく事業として事業実施するものです。下山地区わくわく事業募集要項で示された事業テーマに共感した住民が、仲間を募って団体を結成して、交付決定後に事業に取り組みます。

## 令和6年度「テーマ設定型」わくわく事業募集テーマ

事業テーマ	①下山と都市との交流
事業名	山村体験を通じた下山と都市との交流
事業の目的と具体的な内容	【目的（達成目標）】※最終的に実現したい内容を具体的に記入 都市住民にとって魅力的で参加しやすく、かつ継続的に参加してもらえるような山村体験イベントを企画し、実施する。
	【全体計画】※目的を達成するための中長期的な計画（実施期間の想定） 山村体験をするなら“下山”と誰にも思ってもらえる豊富で気軽なメニューを揃えて、街の人に田舎暮らしの面白さを体験してもらう。 交流を通じて、農林業の楽しさや地域の良さを実感してもらう。 中長期的には、その中から定住を希望する人が出てくることを期待する。
	【申請年度の事業内容と期待される効果】 コンセプト：通年を通じた山村体験を気軽に 1) 都市住民の参加しやすさの工夫。既存の取組（農ライフ創生センター等）と比べ、参加者がより気軽に参加できるよう柔軟に対応 2) 遊休農地や下山地区在住で技術のある人材を活用 3) 継続的活動とするために参加者、指導者、地域に利益をもたらす仕組み作り

事業テーマ	②下山の未来に向けて
事業名	下山地区住民の健康を保つための機会づくり
事業の目的と具体的な内容	【目的（達成目標）】※最終的に実現したい内容を具体的に記入 「幸齢化」社会実現に向け、年齢に関係なく参加しやすく、かつ継続的に参加してもらえるような健康イベントの企画・運営や市内で開催されている既存コンテンツとのマッチング等を実施する。
	【全体計画】※目的を達成するための中長期的な計画（実施期間の想定） 住み慣れた地域の中で健康づくりや市民活動が活発に行われ健康寿命が延伸している。
	【申請年度の事業内容と期待される効果】 1) 下山の実情に沿った参加し易い運動プログラムの企画・運営 2) 高齢期になっても自らの意思で選択し活躍できる場がある 3) 多様な形で地域活動に関わる「関係人口」を増やす仕組みづくり
※注1 「幸齢化」とは、下山地域会議において、「幸せに年を取ること」としてしています。	